

	平均正答率			
	三成小学校	広島県	全国（公立）	全国比
国語科	68.0	69.0	67.7	+0.3

令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果分析シート（国語科）

課題（○問題の概要・趣旨）	分 析	指導計画
○オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものと して、適切なものを選択する。 正答率：46.9（県 66.5 全国 63.8） 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。	- 文章を読んで、場面（状況）を把握することができていない。 「オンライン交流」というものの目的が理解できていない。物事に対する知識が少ない。何のための手段なのかがわかっていない。 - 選択肢のなかみの違いを捉えられていない。 - 複数の資料がつけられていない。	- 目的や意図を意識させる指導（授業に限らず学校生活全ての場面） 1回で聞き取る 読み取る 理解する 初読の訓練 - 複数の資料を提示して考える場面の設定 - 言葉にこだわった指導 意味調べの充実
○学校の取組を紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものと して、適切なものを選択する。 正答率：53.1（県 63.4 全国 62.5） 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる。	- 選択肢のなかみの違いを捉えられていない。 「事実」「感想」の意味 事実とは？感想とは？	- 説明文での指導 「意見」と「感想」、「事実」と「考え」など文体から捉えさせる指導 - 選択肢のある問いの解き方の指導 共通点・相違点に着目させる。
○「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する。 正答率：61.2（県 69.0 全国 66.9） 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。	- 読書量の不足 - 言葉から人物の心情を想像する力が弱い。 情景描写 心情を表す言葉（直接的な言葉以外） - 長い文章を読み切る力の不足 線の引いてある部分（問題に関わる部分）のみを読んで答えようとしている。 - 初読で大まかな内容を捉える力が弱い。	- 読書の環境を整える。（本・時間） - 文学的文章の学習で、物語の世界に浸らせることのできる指導 - 言葉の意味を体感できるよう、また語彙力を増やせるよう動作化させる。 - 物語の世界に入り込ませる環境作り

○【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す。（きょうぎ） 正答率：38.8（県 44.7 全国 43.4） ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる。	・漢字の持つ意味が理解できていない。 新出漢字の学習で、書き順と読み方しか練習していない。漢字ドリル・教科書の文章に出てくる読み方や熟語しか書けない。	・新出漢字の学習方法を改善 意味を理解させる。意味を考えて漢字を書く（問題を解く）練習に取り組ませる。
○オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する。 正答率：53.1（県 54.1 全国 52.9） ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。	・資料を活用して話すこと 経験不足 ・「引用」の意味	・言葉の指導 ・人前で話す場の設定

	平均正答率			
	三成小学校	広島県	全国（公立）	全国比
算数科	60.0	64.0	63.4	-3.4

令和6年度 全国学力・学習状況調査 結果分析シート （算数科）

課 題 （○問題の概要・趣旨）	分 析	指導計画
○問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ。 正答率：42.9（県 61.7 全国 62.1） ・問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる。	・問題場面のイメージができていない。 →「少ない」＝引き算 と捉えてしまう。 操作活動の不足 作業が理解につながっていない。 図や口を用いた解き方が身についていない。	・分かっていること、聞かれていることに印を付けさせる。 ・言葉だけでなく、場面の状況把握ができるよう、授業で図をかく（用いる）場を多く設定する。
○3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く。 正答率：59.2（県 69.2 全国 70.0） ・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる。	・何を聞かれているのか 文意を捉えられない。 安易に公式を使う。 式の意味 速さの意味が捉えられていない。 ・かけ算のきまり 理解不足	・一読で、文意を理解できるよう、読みの力を付ける指導に取り組む。 場面を絵にする。 図に表す。
○直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く。 正答率：30.6（県 37.6 全国 36.5） ・球の直径の長さと立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる。	・問題のイメージ化ができていない。 ・「球」というだけで、何となく円の面積の公式に出てくる3.14を使っている。 公式の意味理解の不足	・公式を学習する際、意味理解が確実にできるための授業改善 ・公式を使えるよう定着させるために、繰り返し問題に取り組ませる。
○家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。 正答率：32.7（県 30.4 全国 31.0） ・道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる。	・場面のイメージができない。 ・問題を読んで、道のりが等しいことに気付いていない。 ・何を問われているかを正しく理解できていない。 ・道のりが等しい場合、どちらが速いかを判断する考え方が理解できていない。	

かをみる。		
○家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く。 正答率：49.0（県 52.8 全国 54.1） ・速さの意味について理解しているかどうかをみる。		
○折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について 3 月の回数と4月の回数の違いを書く。 正答率：44.9（県 45.5 全国 44.0） ・折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる。	・問題文の理解 ・何をどう答えればよいか、分からない。	・複数の資料から、必要な情報を取り出す練習 - 算数科以外の教科学習へも応用
○示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く。 正答率：49.0（県 50.2 全国 49.3） ・示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる。	・複数の情報を頭の中で整理する力の不足 ・情報量の多さに対応できない。	

2学期からの指導計画

1年生担任

いつ	どの単元で、どの力を、どのような指導で			その他 (ドリルタイム・宿題等)
	国語科において		算数科において	
9月	「はなしたいな ききたいな」 ・目的と相手に応じて必要な事柄を考 える力 →クラス全体に発表する場面を設定する。	目的 と 相 手 に 合 わ せ て 、 書 く ・ 読 む ・ 話 す ・ 聞 く	「10よりおおきいかず」 ・2位数を10のまとまりの個数と端数と いう考えを基にして捉える力 →操作活動で10のまとまりをつくる場 を設ける。	スピーチ →相手の話を聞 いて質問を考える (帰りの会) ・文章題の練習量 を増やす。 →図を書かせる。 (ドリルタイム・宿 題等) ・作文指導 →条件に合わせて 書かせる。 (授業・宿題等) ・読書活動 →読書の時間や 移動図書館を活用し て、物語文を読む 機会を増やす。
10月	「なにに 見えるかな」 ・話の内容を捉えて、感想を持つ力 →目的を持って話し合いをする場面を設定する。 →出そうな質問を考えさせる。		「たしざん」 ・繰り上がりのある加法の計算の仕方を 説明する力 ・場面をイメージして立式する力 →操作活動と図と式を用いて説明させる。 →問題提示を工夫する。	
11月	「ふねのせつめいをよもう」 ・事柄の順序を考えながら、内容の大体を 捉えて読む力 →事柄ごとに内容をまとめさせる。 「のりものカード」をつくらう ・説明文の読みかたを生かして、考えの形 成をする力。 →並行読書をしてまとめる。		「ひきざん」 ・繰り下がりのある減法の計算の仕方を 説明する力 ・場面をイメージして立式する力 →操作活動と図と式を用いて説明させる。 →問題提示を工夫する。	
12月	「こえに出してよもう」 ・登場人物の行動を具体的に想像する力 →登場人物の行動を動作化する。 →叙述を基に気持ちを考えさせる。		「どんなけいさんになるのかな」 ・問題場面をイメージして立式する力 →情報が不足した問題を提示し、必要 な情報を考えさせる。	
1月	「むかしばなしをたのしもう」 ・物語のあらすじや人物の行動などを文 章にまとめ、感想を述べる力 →昔話に親しめるよう、教室や廊下の環 境を整える。 →昔話の内容と感想を伝え合う場を設け る。		「おおきいかず」 ・10を単位としてかずの大きさを見る力 →具体物や図を用いて、10のまとまり をつくらせる。	
2月	「ちがいをかながえよう」 ・共通点や相違点、事柄の順序などを考 えながら内容を捉えて読む力 →内容を表などにまとめ、比べさせる。		「たしざんとひきざん」 ・場面をイメージして立式する力 ・図と式と言葉をつなげて説明する力 →操作活動と図と式を用いて説明させ る。 →問題提示を工夫する。	
3月	「1年かんのおもいでブック」 ・文章を読み返し、文と文との続き方を確 かめる力 →以前自分が書いた文章と比べて、ど のような点が伝わりやすくなったかを考え させる。		「かたちづくり」 ・図形の特徴や構成を捉える力 →色板や数え棒を用いて図形を構成し たり分解したりさせる。	

いつ	どの単元で、どの力を、どのような指導で		その他 (ドリルタイム・宿題等)
	国語科において	算数科において	
9月	そうぞうをふくらませて読もう 「ニャーゴ」 ・場面の様子や登場人物の行動など 内容の大体を捉える力 ・場面の様子に着目して登場人物の行動を想像する力 →登場人物のしたことや言ったことが分かる言葉や 「いつ」「どこ」が分かる言葉を見付ける 言語活動の充実	計算のしかたをくふうしよう ・加法の結合法則 ・簡単な加減の暗算の仕方 →既習内容を基に考えさせる ひっ算のしかたを考えよう ・2位数の加法・減法の筆算の仕方 →筆算の仕方の意味理解	学校生活全てにおいて、 目的意識・相手意識をもたせ、 そのために必要なことを考えさせる。 〈家庭学習〉 日記指導(毎週末) 漢字 学習内容の定着 計算カード 九九カード 音読 〈ドリルタイム〉 各単元の基礎基本 活用問題
10月	絵を見てお話を書こう ・内容のまとまりが分かるよう 書き方を工夫する力 →ワークシートの工夫 ビーバーのひみつをつたえよう 「ビーバーの大工事」 ・重要な語や文を考え選び出す力 →大事な言葉や文を見付ける 条件提示 「どうぶつカード」を作ろう ・必要な情報を収集する力 →大事な言葉や文を見付ける 言語活動の充実	さんかくやしかくの形を しらべよう ・三角形や四角形の性質 ・四角形の作図の仕方 →具体物の活用・操作活動の充実 新しい計算を考えよう ・乗法の意味理解 ・乗法の計算の仕方 ・乗法の性質 →かけ算の意味理解 操作活動の充実・図をかく場面	
11月	町で見つけたことを話そう ・話す事柄の順序を考える力 →ワークシートの工夫 →生活科との関連	九九をつくろう ・乗法の性質・きまり →かけ算の意味理解を確実にする 九九の徹底反復練習 九九の歌やカードの活用	
12月	むかし話をしようかいしよう 「かさこじぞう」 →言語活動の工夫 (異学年ペアの活用)		
1月	あなのやくわりを考えよう 「あなのやくわり」 ・文章の内容と自分の体験を結び付け 感想をもつ力 →自分の思いや考えを色々な方法で伝え合う 活動を多く設定する。	1000より大きい数を しらべよう ・4位数までの整数の仕組み →位の箱を書かせる →ブロック操作 長い長さをはかってみよう ・長さの単位(m)及び 測定の意味の理解 →1mものさしの活用、cmを数える →長さを体感する場	
2月	くらべてつたえよう たからものをしようかいしよう ・話題の決定、必要な事柄の選択 ができる力 →スピーチなど、話題を決めて話す場の設定 ワークシートの工夫(事柄メモの活用)	図をつかって考えよう ・加法及び減法の相互関係の理解 →場面把握に必要な言葉の確認 →テープ図を書く習慣付け 分けた大きさのあらわし方を しらべよう ・簡単な分数の意味の理解 →具体物の活用	
3月	かんそうをつたえ合おう 「お手紙」 ・自分の体験と結び付けて感想をもつ力 →自分の思いや考えを色々な方法で伝え合う活動 単元を貫く言語活動の工夫	はこの形をしらべよう ・箱の形の構成、分解 →具体物の活用・操作活動の充実	

自分の考えをもつ、書く、伝える場を多くもつ。

新出漢字は、書き順や読み方に加え、意味を理解できるように指導する。

解き方の説明・考えの理由などを自分の言葉で書かせる

学校生活全てにおいて、目的意識・相手意識をもたせ、そのために必要なことを考えさせる。

2学期からの指導計画

3年生担任

いつ	どの単元で、どの力を、どのような指導で		その他 (ドリルタイム ・宿題等)
	国語科において	算数科において	
9月	主語とじゅつ語、つながってる？ ・主語と述語の関係 →主語と述語が繋がるかに着目	わり算を考えよう ・場面に合わせてあまりを考える →操作活動、図	・熟語、例文を合わせた漢字の練習(宿題) ・読解ワークの活用(ドリルタイム)
10月	中心人物について考えたことをまとめよう 「サーカスのライオン」 ・叙述を基に心情を読み取る ・言葉の意味理解 →大事な言葉や文を見付ける 国語辞典の活用	大きい数のかけ算のしかたを考えよう ・2～3位数×1位数の乗法の計算 →既習との関連	
11月	道具のひみつをつたえよう ・調べたことを整理する →ICTの活用	まるい形を調べよう ・円や球が構成する要素や性質 ・コンパスでの作図 →操作活動・作図	
12月	想どうしたことをつたえ合おう 「モチモチの木」 ・人物の性格を想像する →情景描写に着目させる	重さをはかって表そう ・重さの単位と測定 ・量感 →具体物の測定	
1月	カミツキガメは悪者か ・筆者の考えを捉える →筆者の考えと理由や事例などの構成が理解できるようなワークシートの工夫	分数を使った大きさの表し方を調べよう ・分数のしくみ →図の提示 □を使って場面を式に表そう ・場面に合った式を立てる →言葉の式、図	
2月	道具のうつりかわりを説明しよう ・話の組み立て ・伝えるための話し方を工夫する力 →ICTを活用した振り返り	大きい数のかけ算のしかたを考えよう ・2～3位数×2位数の乗法の計算 →既習との関連	
3月	ゆうすげ村の小さな旅館 ・物語で起きた出来事のつながりを捉える力 →情景描写に着目させる	三角形を調べよう ・様々な三角形の性質 ・三角形の作図 →操作活動	

↑
自分の考えを、理由と合わせて説明する。
↓

↑
答えの求め方を、図や言葉を用いて理由と合わせて説明する
↓

2学期からの指導計画

4年生担任

いつ	どの単元で、どの力を、どのような指導で		その他 (ドリルタイム ・宿題等)
	国語科において	算数科において	
9月	「クラスで話し合って決めよう」 →目的や役割を意識して話し合う力 (互いの意見の共通点や相違点を比較し、自分の考えをまとめる。)	「計算のやくそくを調べよう」 →計算の順序に関するきまりを理解し、数学的表現を適切に活用して数量の関係を表す式について考える力 (等号を揃えて書かせ、正しい計算の仕方を指導する。)	基礎学力の徹底 ・計算チャレンジ ・漢字ミニテスト ・文章読解
10月	「お願いやお礼の手紙を書こう」 →相手や目的を意識して書く力 (手紙の形式を理解しながら、受け立った人の気持ちを想像させながら適切な文章となるよう工夫させる。)	「わり算の筆算を考えよう」 →問題を正しく読み取って立式する力 (筆算の仕方の意味理解を丁寧に行うことや筆算の手順の確認をさせて定着を図る。)	
11月	「聞いてほしいな、こんな出来事」 →聞く人に伝わる工夫を考えて話す力 (日常生活から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ばせる。)	「おおよその数の表し方と使い方を調べよう」 →数直線に示された数を正しく読み取る力、位を正しく読み書きする力 (位取りの意識付けを行う。数直線などの視覚的教材を使う。)	
12月		「直線の交わり方やならび方に注目して調べよう」 →直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形の構成について考える力 (算数用具の正しい使い方の指導)	
1月	「自分なら、どちらを選ぶか」 →理由を吟味して自分の考えを書く力 (考えた理由を話し合い、その中から自分の考えを選択できるようにする。)	「分数をくわしく調べよう」 →分数について理解を深め、同分母分数の加法及び減法の計算ができる力 (図や具体物を用いて、視覚的に分数を表していく。)	
2月	「調べたことをほうこくしよう」 →調べたことや考えたことを、伝え方を工夫しながら伝える力	「広さのくらべ方と表し方を考えよう」 →面積に関する単位について理解し、面積の求め方や面積の単位と既習の単位との関係について考える力 (図、式、言葉を関連づけて考えたり、考えを読み取る活動を入れる。)	
3月	「十年後のわたしへ」 →話したり書いたりするとき、伝えたいことが相手に分かりやすいかを見直す力	「箱の形の持ちようを調べよう」 →直方体や立方体における直線や平面の関係について理解し、立体図形の特徴や性質について考える力 (公式を覚えるだけではなく、なぜそうなるのか、公式の意味が理解できるようにする。)	

相手意識をもつて表現を工夫する

基礎学力の徹底

2学期からの指導計画

5年生担任

いつ	どの単元で、どの力を、どのような指導で		その他 (ドリルタイム・宿題等)
	国語科において	算数科において	
9月	「問題を解決するために話し合おう」 意図を明確にして話し合う力 →話し合いの進め方や方向性を明確にする		
10月	物語のおもしろさを解説しよう 「注文の多い料理店」 表現の工夫を見付ける力 →ワークシートの工夫	図形の角を調べよう 角の性質 →ICT活用 →図と式を結び付け、根拠を基に説明する 算数で読みとこう 複数の資料から問題解決 →自力解決の時間を確保する	
11月	「文化を受けつぐ」ことについて考えよう 「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる」 情報を重ね合わせて読む力 →リーフレットを作成させる →図示して情報を整理させる 提案します、1週間チャレンジ 聞き手に分かりやすく話す力 →ICTを活用して、客観的に自分の発表を振り返らせる	ならした大きさを考えよう 平均の意味や求め方 →必要な数値を読み取り、 条件に合うように解く練習をさせる 比べ方を考えよう(1) 速さや単位量のあたりの大きさを求める →数直線を用いて比例関係を基に考えさせ、 割合の意味を理解させる	(ドリルタイム) 初見の文章の読 解に取り組む。 (家庭学習) 算数の既習の内 容を繰り返し練習 させる。 熟語の意味を理 解し、書けるよう練 習させる。
12月	人物像について考えたことを伝え合おう 「大造じいさんとがん」 人物像を捉える力 →既習の描写や情景描写に着目させる。	面積の求め方を考えよう 基本図形の面積の求め方を見いだすこと →情報不足、情報過多の問題を提示し、 必要な情報を自分で見付けさせる	
1月	ロボットとの未来について考えよう 「『弱いロボット』だからできること」 多角的に捉える力 →それぞれの資料の要旨を把握し、 自分の考えをまとめさせる。	比べ方を考えよう(2) 割合を用いる場合の理解 →言葉と図や式を関連付ける活動を取り入れる →割合を示す表現の中から基準量や比較量を明確にさせる	
2月	資料を見て考えたことを話そう 資料と関連付けて話す力 →条件を付けて複数の資料を活用させる。	多角形と円をくわしく調べよう 図形の性質を筋道を立てて考える →必要な情報を公式を基に考えさせる	
3月		立体をくわしく調べよう 立体図形の性質を筋道を立てて考える →立体図形と展開図や見取り図を結び付けて考えさせる	

長い文章を読む力を付ける・要旨を捉える・言葉の意味調べ

複数の資料から必要な情報を読み取る・言葉や図や式を結び付ける。

2学期からの指導計画

6年生担任

いつ	どの単元で、どの力を、どのような指導で		その他 (ドリルタイム ・宿題等)
	国語科において	算数科において	
9月	「話し合って考えを深めよう」 ・立場を明確にしながら意見を分類、比較する。 ・理由や意見を自分の考えに生かす。 →お互いの立場や、話し合いの意図を明確にしなが 考えを広げられるように工夫する。自分の意見も取り入 れつつ、意欲的に学習に取り組ませる。	拡大図と縮図 ・拡大図、縮図を理解し、利用できる力。 →メタセコイヤなどの高さを求める活動を取り入れる。地 図から奈良や京都までの距離を求める。 データの調べ方 データの特徴や傾向に着目し、問題の結論について判 断するとともに、その妥当性に ついて批判的に考察することができる力。 →生活場面と関連させ、意欲的に学習に 取り組ませる。	〈家庭学習〉 ・漢字プリント(2～5年生のま とめ) ・自学で5行日記を書く。 ・算数の教科書にある「算数で 読み解こう」「考える力をのば そう」の問題をまずは家で取り 組ませ、答え合わせと解説は 学校で行い、もう一度自学で 問題を解かせる。 〈ドリルタイム〉 ・あまりのあるわり算 ・ミニ漢字・計算テスト 〈帰りの会〉 帰りの会の最後に「グッバイ問 題」を実施する。正答した児童 から帰り、課題のある児童へ は個別指導を行う。
10月	表現に着目して読み、考えたことを伝え合おう 「模様のまち」 ・表現の工夫・心情の変化 ・物語の構成をつかむ →物語の描写や情景描写に注目させる。	円の面積の求め方を考えよう 円や複合図形の面積の求め方や図形の性質を説明す ること。 操作活動(高さを書き入れる・変形)を多く取り入れる。 角柱と円柱の体積 ・角柱・円柱の体積の公式 →具体物を用いて、複合図形でも、角柱の 公式を活用できることに気付かせる。	
11月	プラスチックごみの問題について考えよう 「永遠のごみ」プラスチック ・情報と情報の関係づけ ・複数の文章や資料の読み取り ・目的に応じて、情報を取捨選択する力 →資料の提示の仕方を工夫し、複数の資料を比較し ながら読む工夫する。	確かな読み取り 比例と反比例 2つの数量の関係を表や式、グラフに 表すことができる力。 →比例と反比例のグラフを比べさせ、 それぞれの特徴に気付かせる。 →表の見方を確認し、法則性に気付かせる。	
12月	物語を読んで、考えたことを伝え合おう 「海のいのち」 ・人物の性格・気持ちの変化 ・内容の要約 ・物語が自分に最も強く語りかけて きたことをまとめる。 →物語の描写や情景描写に注目させる。	確かな思考力・計算力 並べ方と組み合わせ方 落ちや重ならないように、図や表などを 用いて整理することができる力。 →問題場面を実践し、自分達が書いた図と 教科書を比べさせ、かき方のポイントや 注意点に気付かせる。	
1月	宇宙や地球の未来について話し合おう 「宇宙への思い」 ・情報と情報の関係づけ ・自分の考えの交流 →宇宙に関わる人たちの文章や友達との交流から自 分の考えに自信をもたせ、意見文を書く。	データを使って生活を見直そう データの特徴や傾向に着目し、問題の結論について 判断するとともに、その妥当性に ついて批判的に考察することができる力。 →生活場面と関連させ、意欲的に学習に 取り組ませる。	
2月	どう立ち向かう？もしもの世界 ・情報の読み取り ・情報と情報の関連付け ・意見文を書く →ワークシートを使って、自分の考えを整理できるよ うにする。	算数の学習をしあげよう 問題の内容、聞かれていることを正確に理解し、 正確に計算することができる力。 →式と図と言葉を使って、考えをノートに書いたり 説明したりする。	
3月	「伝えよう感謝の気持ち」 ・事実と感想、意見を区別する。 ・文章構成の組み立て。 →心に残っている学校生活を振り返り経験したことから 具体化させる。	算数卒業旅行 問題の内容、聞かれていることを正確に理解し、正確に 計算することができる力。 →式と図と言葉を使って、考えをノートに書いたり説 明したりする。	